

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援RePort新座教室		
○保護者評価実施期間	2025年10月13日		2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35家庭	(回答者数) 30家庭
○従業者評価実施期間	2025年10月13日		2025年11月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理士・言語聴覚士・栄養士などの専門職員を配置し、多職種の専門的視点を活かした療育を行っています。 それぞれの専門性をもとに、発達支援のプログラムづくりや日々の関わりを丁寧に組み立てるとともに、保護者の方からのご相談にも専門的な視点で対応できる体制を整えています。	それぞれの専門性を活かしながら、日常的に情報共有や意見交換、ケースごとの相談をこまめに行い、チームとしての視点を支援に反映しています。 多職種が連携することで、一面的ではなく多角的な視点からお子さまを捉え、一人ひとりに合ったより質の高い支援につなげています。	専門職を活かした密な連携体制を築きながら、お子さま一人ひとりの発達段階や特性、そしてご家庭のニーズに寄り添った、きめ細やかな支援の実現を目指して取り組んでいます。
2	多様な遊びや課題を通して、発達段階や特性に応じた活動を幅広く取り入れながら、一人ひとりに合った柔軟なプログラムを提供しています。 画一的な支援ではなく、その子にとって「できる」「楽しい」「伸びる」につながる関わりを大切にしています。	職員一人ひとりの「得意」や個性を活かしながら、子どもたちが自然と笑顔になれる、楽しく魅力ある活動づくりを日々展開しています。 それぞれの強みが活かされることで、支援の幅が広がり、より豊かな療育環境につながっています。	イベントの実施などを通して、子どもたちが「楽しい」「また行きたい」と感じられるような、ワクワクする活動づくりを積極的に展開していきます。 一人ひとりの支援プログラムについて丁寧に共有・相談できる時間を設け、より個性の高い支援につなげていきたいと考えています。
3	子どもたちが楽しく、安心して過ごせる環境づくりを大切にしながら、笑顔で自分らしさを表現し、のびのびと「その子らしく」過ごせる居場所づくりを行っています。	感覚遊びやごっこ遊びなどの楽しい活動を通して、子どもたち一人ひとりの「楽しい」「やってみよう」という気持ちを大切にしながら、それぞれの興味や得意を活かした療育を展開しています。	保護者の方にも安心してご利用いただけるよう、専門職等による相談の機会を充実させ、日々の不安や悩みに寄り添った、相談しやすい支援体制づくりを大切にしています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援の面において課題があり、より安心して相談できる環境づくりが求められています。 そのため、保護者の思いや不安に寄り添いながら、気軽に相談できる関係性と体制の構築が必要であると考えています。	特に午前利用のご家庭においては、送迎や活動の流れの関係で、ゆっくりとお話をする時間を確保しにくい状況が見られます。	保護者の方とゆっくりお話しできる機会が設けられるよう、面談や相談の場の工夫・提案を行っています。 フィードバックの機会を通して、保護者の方を感じている不安や気になる点を自然に引き出しながら、必要な情報や支援内容を丁寧に伝えられる関わりを大切にしています。
2	振替利用や追加利用のご案内においても、「参加したい」「行ってみよう」と感じていただけるような、魅力的で参加意欲につながる活動内容を企画・提案していくことが必要です。	振替利用のご提案において、子ども一人ひとりのニーズや成長段階に十分に即した内容の提案が少なかったと感じます。	子ども一人ひとりの課題やニーズを共有しながら、職員間で密に連携し、発達段階や成長に合った振替利用の提案ができる体制づくりを進めています。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援RePort新座教室					公表日	令和8年3月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		必要な支援に対して部屋を分けて対応している。子どもたちが十分に体を動かせるスペースが確保されている。	鍵が弱くなっているので子どもが開けてしまう事もあった(鍵を交換して対応済み)		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用児童の人数や特性を踏まえ、基準を満たした職員配置を行っています。また、子どもの状況や支援内容に応じて職員間で情報共有を行い、その日の役割分担や配置を調整しながら支援を行っています。	現在、基準に基づいた適切な職員配置を行っており、大きな課題はありません。今後も児童の状況に応じて柔軟に対応できる体制を維持していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		食事場所、主に身体を動かす部屋、机上で落ち着く部屋と分けて展開している。状況により、パーテーションで部屋を広く利用したり、また、部屋を分けて使用できるなど工夫されている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除と消毒を実施しています。モップを変えたら床の匂いが消えた気がする。来所するこどもにより、部屋ごとに活動準備を整えている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別の部屋があり、必要に応じて使用することが出来る。子どもが痙攣を起こした時などにも落ち着くことができるスペースも確保されている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			勤務体制の関係もあり、多くの職員が同時に参加して話し合う機会を設けることが難しい状況があります。今後は情報共有の方法を工夫し、より多くの職員が業務改善に関われるよう取り組んでいきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			web回答が書面での回答、やりやすい方を柔軟に提示していきたい		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々の療育設定や話をする中でお話をしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	外部講師による研修などで改善につなげている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		パートさんなどの参加がどうしても難しくなってしまうので、参加しやすくなる工夫が必要で時間やZOOMの活用などを行っています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		当日の支援内容を、来室時に口頭説明しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		早めに面談をおこない計画作成をしています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			参加人数が少なくなってしまうことが多いので工夫が必要		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		主な支援点を表にして療育内容を定めるためのファイルに入れている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントシートやHUGの記録を行っている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域を踏まえて設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		支援を行う担当者を中心に立案を行っている。			

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎回支援を過去の記録と照らし合わせながら内容が被らないよう留意している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		状況に合わせて案内をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		記録用紙を活用しながら行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	気づいた点などは、共有ノートや支援前の時間に共有している。 お昼休憩を一緒に取ることで、自然と子どもたちの話題になりにくい雰囲気を作れている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGを使い支援の記録を行い、気になる点は共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		更新の前月にモニタリングを行い余裕をもって見直しが行えるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		必要に応じて管理者や療育リーダーが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて各機関と連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	自立支援協議会で助言などを受ける機会があります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		公園などで交流があります	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎の際や、保護者がモニター見学している際にお話をしています。 帰りのフィードバックの時間を保護者様と設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		県や市などの講演会等のチラシを掲示しています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学時や契約時にお話をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリングやアセスメントで保護者の主訴を確認して反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		説明をしてサインをいただいています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		計画見直しの時や、日々の会話から行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		モニター見学時、保護者同士で交流が持てるよう支援しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		事業所や電話にて相談援助を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタやHUGで情報発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付き棚へ書類をしまっています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵や写真なども活用して意思疎通をはかっています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		関係機関の方が必要に応じて訪問しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		避難訓練を児童と共に行なっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に読み合わせをしています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシートを活用して確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		利用前に確認して必要な措置をとります。 机を分けるなどして、配慮している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的な計画の確認をしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		避難場所など災害時の対応を掲示しています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットのファイルを用意しています。 玄関のドアの鍵（上用）を頑丈なものに変えたい。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		必要な児童には保護者と共に対応を検討し同意を得ます。		

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和8年3月31日

対象人数（保護者）35人 回

事業所名：児童発達支援RePort新座教室

答者数 30人 回収 85.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	8			活動スペースについて、個別や少人数で活動できる環境や、小集団で活動できる広いスペースがあるとよいというご意見がありました。また、可能な範囲で屋外活動を取り入れてほしいというご意見もありました。一方で、長く通う中で子どもの成長に合わせた支援が行われていることへの感謝の声もいただいています。	貴重なご意見をありがとうございます。限られた環境の中ではありますが、活動内容や人数の調整を行いながら安全に配慮して支援を実施しております。今後も子どもたちの状況に応じて活動の工夫を行い、より良い支援につなげてまいります。また、屋外活動についても体調や天候、安全面を踏まえながら可能な範囲で取り入れていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28		1	1	土曜や祝日も閉室しているため、職員の勤務体制や負担にも配慮した運営を望むご意見がありました。	ご意見をありがとうございます。当事業所では基準に基づいた職員配置を行いながら運営しております。今後も職員の勤務体制や業務負担に配慮しつつ、安定した支援体制を維持できるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2			LINEなどを活用した情報共有が増えたことや、「HUG」を活用した活動記録や出席予定の確認がしやすい点について評価の声がありました。一方で、福祉や就学に関する情報提供の機会をもう少し増やしてほしいというご意見や、施設内の設備について安全面への配慮を望むご意見もありました。また、ヒアリングを踏まえて支援計画を立ててもらっていることへの声もありました。	今後もLINEや「HUG」などを活用し、分かりやすい情報共有に努めてまいります。また、福祉制度や就学に関する情報についても、可能な範囲でお知らせできるよう取り組んでいきます。施設内の安全面についても改めて確認し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1			限られた空間の中で過ごしやすい環境づくりが行われているという声がありました。一方で、活動状況によってはスペースにやや圧迫感を感じることがあるというご意見もありました。	貴重なご意見をありがとうございます。限られた環境の中ではありますが、活動内容や人数の調整を行いながら、子どもたちが安全に安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。今後も活動スペースの使い方を工夫しながら支援を行っていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	4	1		子どもに対して温かく関わってもらっていることへの感謝の声がありました。一方で、家庭や園での関わり方についての専門的な助言や、子どもの成長や変化についての共有をもう少し充実させてほしいというご意見がありました。また、継続的な支援体制を望む声もありました。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後も子ども一人ひとりに寄り添った支援を大切にまいります。また、家庭や園での関わり方についても専門職の視点を活かしながら助言や情報共有を行い、保護者の皆さまと連携した支援につなげていけるよう努めてまいります。子どもの成長や変化についても、面談や日々のフィードバックを通して丁寧にお伝えしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	2			活動プログラムのねらいや就学前に向けた支援内容について、もう少し分かりやすく説明してほしいというご意見がありました。また、個別支援計画の目標について、子どもの成長に応じた見直しをより分かりやすくしてほしいというご意見がありました。	活動プログラムについては、ねらいや目的が保護者の皆さまに分かりやすく伝わるよう、フィードバックや面談等で説明を行っています。また、個別支援計画の目標については、お子さまの成長や状況に応じて定期的に見直しを行い、目標設定の意図や支援内容を丁寧に共有できるよう取り組んでまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	26	2	2		個別支援計画について、5領域を踏まえた内容や具体的な対応方法をより分かりやすくしてほしいというご意見がありました。また、保護者の意向の反映や、職員とのコミュニケーションについて改善を望むご意見がありました。	個別支援計画については、5領域を踏まえながらお子さまの状況に応じた具体的な支援内容や対応方法が分かりやすくなるよう工夫してまいります。また、保護者の皆さまのご意向をより丁寧に伺い、面談や日々のフィードバックを通してコミュニケーションを大切にしながら支援につなげていきます。

適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	6	1	3	子どもの困りごとに対する対応方法や、日々の活動がどのように支援につながっているのかを、もう少し具体的に知りたいという意見がありました。また、活動内容やねらいが分かることで利用回数の検討もしやすくなるという意見がありました。	日々の活動や支援のねらいが保護者の皆さまに分かりやすく伝わるよう、フィードバックや面談の機会を通して丁寧に共有していきます。また、お子さまの困りごとに対する支援内容についても具体的にお伝えできるよう努めてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	5			個別支援の内容について、利用人数や活動内容によっては個々の支援計画に沿った取り組みが十分に行われていないと感じることがあるという意見がありました。また、支援内容や取り組みについて相談しやすい環境や、継続的な取り組みを望むご意見がありました。	個別支援計画に基づいた支援が継続して行えるよう、職員間での情報共有や支援内容の確認を徹底してまいります。また、保護者の皆さまからのご相談やご意見を受け止めやすい環境づくりを行い、面談や日々のフィードバックを通して支援内容の共有と改善に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3	2		限られた空間の中で活動を工夫しているという声がありました。一方で、行事（誕生日会など）や活動内容について、もう少しバリエーションがあるとよいというご意見もありました。また、子どもに合わせたプログラムを行っていることへの声もありました。	貴重なご意見をありがとうございます。限られた環境の中ではありますが、子ども一人ひとりの状況や必要性に応じた活動を大切にしながら支援を行っています。今後も活動内容や行事について工夫を重ね、子どもたちが楽しく参加できる取り組みを検討してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	5	10		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29			1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	2	1	1	支援内容や日々の活動について、もう少し説明があるとよいというご意見がありました。	日々の活動や支援内容について、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、フィードバックや面談等を通して丁寧な情報共有に努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	4	9	我が家が利用してからは1回のみ、次年度に新年長組の家庭の保護者向けの就学前の情報共有の会があった。今後はもう少しそう言う場を増やしてほしい。他施設の案内はありますが、施設からの企画はないです。就学向けのプログラムがありました。	就学に向けた情報提供や保護者向けの機会について、今後の充実に検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	3		1	すごく丁寧に毎回伝えてくれます。	今後も丁寧に分かりやすい対応を心がけてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	6	2	2	通い始めたばかりのため常にきにかけてくださり助言してくれます。	引き続き安心して通っていただけるよう、丁寧なサポートに努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27			3	どの先生も本当に素晴らしいと思います。	今後もお子さま一人ひとりに寄り添った支援を大切にしております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	6	15	保護者同士や職員と交流できる機会（保護者会など）があるとよいというご意見がありました。	保護者の皆さま同士や職員との交流の機会について、実施方法や内容を検討しながら、今後の取り組みとして参考にさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		5	相談には必ず時間を作って話す機会を設けてくれます。	今後も相談の機会を大切に、丁寧に対応してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	3		2	こちらからも相談がある時は時間を取るようお伝えしようと思います	日々の活動や支援内容について、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。また、ご相談がある際には面談等の時間を設けることも可能ですので、遠慮なくお声掛けいただければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	1		2		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	5	1	9	避難訓練などの安全対策の取り組みについて、実施状況や内容が分かりにくいというご意見がありました。	当事業所では定期的に避難訓練等の安全対策を実施しております。今後は実施状況や内容について、掲示やお知らせ等を通して保護者の皆さまにも分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	1	17	避難訓練について、実施状況や参加機会が分かりにくいため、すべての子どもが経験できるようにしてほしいというご意見がありました。	当事業所では定期的に避難訓練を実施しています。今後は実施内容や参加状況について分かりやすくお伝えするとともに、できるだけ多くの子どもが経験できるよう実施方法についても工夫してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	21	1	1	6	職員の履物や玄関の施設など、安全面の管理についてより配慮してほしいというご意見がありました。	安全面についてのご意見を受け、職員の身だしなみや動きやすい履物の確認、玄関の施設管理などについて改めて職員間で共有し、安全管理の徹底に努めてまいります。また、送迎時の安全確保についても職員間で声掛けを行いながら対応してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	22	1	1	6	子ども同士のトラブルや軽微なけがなどについて、状況の共有をもう少し丁寧にしてほしいというご意見がありました。	子ども同士の関わりやけが等があった場合には、状況を職員間で共有するとともに、保護者の皆さまへも分かりやすくお伝えできるよう改めて周知を行い、情報共有の徹底に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	2			すごく楽しみに通っています。	今後も安心して楽しく通っていただける環境を大切にしております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	1		こちらの施設が児発施設として初めて利用しているが、幼稚園とは違う空間や環境、少人数による異年齢や同学年のお友達との交流、温かい職員の方々の触れ合いのお陰で、すっかり生活の一部になり、本人が通所を楽しみにしている。 とても楽しみにしています！ 毎回とても楽しみにしています。	RePortでは特に集団プログラムで異年齢のお子さまが交流することを大切にして支援をしております。 今後もお子さまが楽しく通えるよう、職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	5	1		不足している部分を少しずつで良いので改善・工夫しながら、駅前の利便性のある立地を生かし、更に充実した施設になるよう、引き続き連携を取っていきたい。 子供からしたら小規模なキッズパーク感覚で遊んでいる。それで成長するならしいと思う。 大変満足しています。	今後も改善を重ねながら、保護者の皆さまと連携を大切に運営してまいります。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。